

# プラハの大規模集合住宅開発地における 公共空間に対する住民の関心

田中 由乃<sup>1</sup>

<sup>1</sup>正会員 博士(工学) 東京工業大学 環境・社会理工学院 土木・環境工学系  
(〒152-8550 東京都目黒区大岡山2-12-1 W9-501, E-mail:tanaka.y.cp@m.titech.ac.jp)

チェコ共和国プラハ市プラハ11区にある社会主義時代の大規模集合住宅開発地イジュニームニェストにおいて、将来の地域再生に対する住民の意見を集める目的で、ガリバーマップ作成イベントを実施した。結果として2日間で、合計117のコメントが寄せられた。新しく作りたい、または現状を改善したい場所として、緑地や公園、道路、公共・商業施設、駐車場等が上げられた他、新築の制限に関する要求も複数みられた。また、本人の希望に対して自分が出来ることについての書き込みに関してみると、公園のデザインワークショップ参加等の新規開発時の関与、及び公園の水やり等の空間の維持管理に対する関与についての言及が見られた。

**キーワード:** プラハ, 市民参加, ワークショップ, 住宅団地, 社会主義

## 1. はじめに

チェコ共和国プラハ市プラハ11区には、社会主義時代に開発された、プレハブパネル工法による集合住宅(写真-1)の立ち並ぶ大規模住宅開発地 Jižní Město (South Townの意、以下JM)が存在する。社会主義時代の住宅開発地はこれまで、画一的である、灰色のイメージ、といった表現で語られることがあった一方で、その魅力については十分な関心が向けられてこなかった。しかし、このような住宅開発地は現在でも取り壊されることなく、住民の生活の場として一定の役割を果たしており、プラハ11区行政による地域再生に対する積極的な取り組みも行われている<sup>1)</sup>。以上の様な状況を踏まえ、JM住民は現在のJMの何を魅力として捉えているのかを明らかにするため、筆者は2015年に区の地域イベントの一環として、住民に地域で面白いと思う場所を書き込んでもらうガリバーマップ作成イベントを実施した<sup>2)</sup>。2015年のイベント結果を踏まえた上で、今回は更に、将来の地域再生に対する住民の意見を集める目的で、第2回ガリバーマップ作成イベントを実施した。



写真-1 プレハブパネル工法による集合住宅  
(プラハ11区, 2013年 筆者撮影)

## 2. ワークショップの概要

プラハ市プラハ11区で行われた地域イベント「Dny Prahy11 (プラハ11区の日)」の一部として、2017年9月15日(金)及び16日(土)の2日間、市民参加型ワークショップ「Kdybych já byl městským projektantem... Budoucnost Jižního města (もしも私が町のデザイナーだったなら… プラハ11区の将来)」を実施した。今回、自宅等の私有地の改善など個人的な利益から離れ、より公共性の高い空間について考えてもらいたいという意図から、あえて「町のデザイナー」という視点を加えたワークショップ名とした。

ワークショップは地域イベントのメイン会場であり、歌やダンスが披露される舞台や飲食店等の屋台が集まる Chodovská tvrz公園内に設置されたテントの一部を利用して実施した。地面にJMとその周辺部を含むガリバーマップ(5.6m×3m)を広げ、自分が町のデザイナーだったならば地域のどこを良くしたいか、またそのために自分が手伝えることがある場合は、何が出来るかについても記入してもらった(写真-2)。第1回のイベント時に使用した地図に通りの名前が入っておらず、場所が分かり難いとの指摘があったため、今回は通りの名前が入った地図を用意した。更に、事前にプラハ11区区役所担当者や相談の上、特に住民の意見が欲しいエリア4か所を定め、それらのエリアについては別途拡大地図と書き込み用の付箋を用意した(写真-3)。ガリバーマップの周りには、JM地域の変遷が分かる航空写真(1953年から2012年までの6枚)、これまでの筆者の研究結果、2015

年に行ったワークショップの結果を展示した。イベント当日の運営は筆者とチェコ人の通訳者1名によって行い、口頭での説明が無くともワークショップの概要が分かるように、コメントカードの書き方の手順を示すポスターを設置した。書き方の手順は以下のように示した（実際にはチェコ語で記述）。

1. 自分の家や知っている場所（学校、お店、公園など）を探してみましょう
2. その場所に、将来もっとこうなしてほしい、という希望はありますか？
3. それを実現するために、あなたが手伝えることがあれば教えてください



写真-2 (左) ガリバーマップを用いたワークショップの様子 (筆者撮影)



写真-3 (右) 注目エリアの拡大地図とコメント (筆者撮影)

### 3. ワークショップの結果と考察

#### (1) ワークショップの結果

同時期に開催した第1回目（2015年）と比べて気温が低く、天気も優れなかったものの、結果的に2日間の開催で、注目エリア4か所に対して38枚、地域全体に対して79枚、合計117枚のコメントが寄せられた。注目エリアについての枚数は拡大地図に貼られたものの枚数（付箋37枚、コメントカード1枚）とし、同エリア内であっても、ガリバーマップに記入されたものについては地域全体のカードとして計算した。コメントカードの詳細と記入事例を図-1に、カードの内容一覧を表-1（注目エリア）及び表-2（地域全体）に、カードの分布を図-2に示す。カードに書き込まれたコメントの翻訳は、イベント終了後、通訳者とともに行った。

#### コメントカードの文章

「もしも私が町のデザイナーだったなら、(コメント1) がしたいです！  
それを実現するために、私は (コメント2) ができます！」  
場所：\_\_\_\_\_



図-1 コメントカードの文章と記入されたカードの例 (左から表2の59, 表2の77, 表1の3-3に対応)

コメントカードの内容を大別すると、遊具等設備付きの公園に関するものが44枚、交通インフラや道路整備に関するものが25枚、公共・商業施設などの建築物に関するものが18枚、緑地、公園（森林公園など、遊具を含まないもの）に関するものが12枚、駐車場に関するものが6枚、その他が15枚となった。ただし、1枚のカードに複数の意見が書かれている場合は、内容毎に1枚として計算している。また、コメントカードの内17枚においては、本人の希望だけでなく、そのために自分が出来ることについての書き込みがあった。

#### (2) コメント内容に関する考察

コメントカードに多くみられた内容として、公園や緑地の整備・改善が挙げられる。本イベントは開催場所を公園としており、また地域イベントの一部であったことから、参加者は小学生以下の子どもを含む家族世帯など、公園や緑地を日ごろからよく利用する参加者が多かったと考えられ、JM住民の総意とは言えないが、公園、緑地空間は、一定程度のJM住民にとって大きな関心の対象となっていることが分かった。また、開催場所近くにコメントカードの集中がみられることから、実施場所が結果に影響を与える可能性は大きいと考えられる。イベント実施場所を訪れやすい住民層によって、関心の高い場所や地域に求めるものが変わってくる可能性があり、より幅広い意見を集めるためには、商業施設や駅など、用途の異なる複数個所にマップを設置するなどの方法が考えられる。

#### (3) 地域再生に対する住民の関わり方に関する考察

表-2のコメント2（自分が出来ること）欄にみられるコメントからは、地域の住環境改善に関する住民参加の在り方の可能性として、新たな空間を生み出すプロセスにおける、a)場所のデザイン提案への参加、b)デザイン実現のための活動（木や花を植える等）への参加、更にc)実現した空間を維持するための活動（植物への水やり等）が考えられる。

また、コメントカードの中には、他のカードから影響を受けて書き込まれたと考えられるコメント（表-2の73と74、77等）も見られた。このことから、今回のワークショップ自体が、住民間で意見を共有する、他の住民の意見に対して賛成か反対を考える等、地域に対して関心を向ける機会ともなったと考えられる。

#### (3) 参加人数に関する考察

今回、小さな子どもを含む家族世帯の参加が多くみられたが、運営者2名で対応を行ったこと、屋外テントのため参加者の出入りが自由であったことから、総参加者

数や年齢層について記録を取ることが出来なかった。子どもと大人ではコメントの内容に違いがあると考えられるため、年齢層を記入してもらうことで、より詳細な分析が出来た可能性が考えられる。

また、今回、第1回目のワークショップと比較し、コメントカード数の大幅な減少があった（第1回397枚に対して第2回117枚）。この理由として、主に実施日時の天候条件の悪さ、それに伴う開催時間の短縮、コメントカードの文章の複雑さが考えられる。天候条件については、当日の気温が9月としては非常に寒く、天気も曇りと小雨が続いたことから、野外で行われる地域イベントそのものへの参加者が少なく、結果としてワークショップ参加者及びコメントカードの枚数も減ったものと考えられる。カードの内容については、前回は白紙のカードに自由記入としたところ、イラストや単語だけなど、コメントの意図が理解し難いものが多数あったため、今回はあえて文章の空欄を埋める形とした。これによってカードの枚数自体は減ったものの、コメントの意図が明確になり、内容の質は高まったと考えられる。

**謝辞：**本研究は学術振興会による研究助成を受けて行われた研究の一部です。感謝申し上げます。

#### 参考文献

- 1) 田中由乃, 神吉紀世子; 「社会主義時代に開発された住宅地のプラハ市行政による再生施策の特色 -プラハ市行政とプラハ11, 13区行政の関係性の考察を通じて-」, 日本都市計画学会都市計画論文集 Vol. 48, No. 3, pp. 309~314, 2013
- 2) 田中由乃, 神吉紀世子; 「プラハの住宅開発地イジュニムニェストにおける地域の魅力探しワークショップ 社会主義時代のプレハブ住宅開発地の再価値化を目的として」, 2016年度日本建築学会大会 学術講演梗概集, pp. 653~654, 2016

表-2 ガリバーマップに記入されたコメント

番号	分類	コメント1(自分が町のデザイナーならばほしいこと/欲しいもの)	コメント2(自分が出来ること)
1	D	子どもの遊び場がついている子どものためのレストラン	
2	B	児童公園をきれいにする	
3	F	Skanskaの会社が土地利用計画の例外を許可されないようにする	
4	C	自転車コースを直す 今は歩道になっているところ	
5	A	森林公園	木を植えるのを手伝う
6	C	プールとKulaty chodovecの間に街灯つきの歩道を作る	
7	B	プールの前にある芝生に小さい児童公園	
8	D	子どものための小さな屋外プール	
9	C	バス停のところに歩道橋を作る	
10	C	Miroveho hnutiの道の交通を減らしたい 渋滞がひどい	
11	B	交通ルールを学ぶ公園	
12	D	子ども用の屋外プール	
13	C	飲食店の周りのごみ箱を増やす	
14	C	バス停の周りの歩道を直す	
15	B	公園をスポーツ公園か児童公園にする	おもちゃを持って来る
16	D	室内プールの隣に屋外プールを作る	
17	B	イグアノンの恐竜の像	
18	B	夏用のシャワー	
19	C	11区のプールの下にあるstezkaの道路コースを完成させる	
20	B	11区の公園の全部におむつ替えと授乳のための小部屋を作る	

表-1 注目エリアに対するコメント

番号	分類	コメント(注目エリアにほしい空間)
1-1	A	森
1-2	A	緑を守る
1-3	F	子どものための乗馬場
1-4	D	子どものためのスポーツエリア
1-5	F	そのままにしておいてほしい
1-6	D	屋外プール(PetinkaかBiotop radtinの様な)
1-7	D	屋外プール
1-8	A	森
1-9	D	50m屋内プール! 町の景色が見えるもの
1-10	C	雨が降っても臭わないように
1-11	F	Letokrubylにある住宅を壊してほしい
2-1	B,D	水遊び出来る子どもの公園 カフェつき
2-2	F	建物か学生寮
2-3	C	地下鉄の入り口をバリアフリーにしてほしい
2-4	F	オフィスの建物と車が多くなるのが嫌
2-5	B	公園とローラースケートが出来る場所
2-6	A,C	地下鉄の入り口(※改善要求と思われる)、公園
2-7	A	きれいな緑 建物ではなく
2-8	C	この地域を楽に歩けるように(※歩道の整備と思われる)
2-9	B	子どもの公園 噴水付き
3-1	D	新しい区役所
3-2	B	子ども用の交通ルールを学べる公園
3-3	B	交通ルールを学べる公園
3-4	B	子ども用の公園
3-5	B	交通ルールを学べる公園
3-6	B	交通ルールを学べる公園
3-7	B	高い噴水のある公園
3-8	B	交通ルールを学べる公園
4-1	E	駐車場
4-2	A	森林公園
4-3	B	水遊び出来る公園 小さい子ども用の噴水3つ
4-4	B	ローラーコースター ポブスレー ×2
4-5	B	ローラーコースター
4-6	B	公園、児童公園、子ども用屋外プール
4-7	A	きれいにして、公園のようにしたあと、森林公園
4-8	A	緑を守る、ホームレスが泊まらないように警察に見回りにしてほしい
4-9	C	道をきれいにする そのために低木を切してほしい
4-10	B	公園、児童公園、新しい建物を建てないでほしい

分類 A:緑地、公園(遊具等含まない) B:遊具等設備付きの公園  
 C:交通・インフラや道路整備関係 D:公共・商業施設など建築物関係  
 E:駐車場 F:その他

表-2 (続き) ガリバーマップに記入されたコメント

番号	分類	コメント1(自分が町のデザイナーならばしたいこと/欲しいもの)	コメント2(自分が出来ること)
21	D	室内の子どもの遊び場を作る	
22	F	大きな建物の建築規制をする	
23	C	レストランにビールを運ぶ車からタンクに移すときに、ビールが道路にこぼれて水浸しで臭うので、禁止する	
24	F	アパートの周りに木を植える 夏に日陰が出来るように	
25	C	バス停の前に信号を設置する	
26	B	児童公園にターザンロープ(遊具)を作る(裏面にイラスト)	
27	B	児童公園	協力する
28	B	児童公園、バスケットコート	
29	C	高速道路の横断歩道	
30	B	児童公園と噴水のある公園を作る	
31	C	道の周りにベンチなどの休める場所とごみ箱を増やす	署名運動をする
32	E	駐車の問題を何とかする	車なしの生活をする
33	B	Arboretum(※植物園の様な特別な公園)	
34	D	子どものための屋内の遊び場	
35	D	パン屋	
36	E	駐車場を拡張する	
37	F	ドラッグディーラーを何とかする	
38	B	児童公園に水遊び場所を作る	
39	C	交差点に信号を設置する	
40	B	共産主義時代の像を取り除いてもっとかわいい小さいベンチ付きの公園にする	花や木を植える
41	B	小さい公園にティーンエイジャーのためのスポーツ公園を作る	
42	C	交差点に信号を設置する 事故が多いので交通安全のために	
43	B	犬のための競技ハードル	
44	D	屋外プール	
45	F	JMは建築物が多すぎて駐車や渋滞の問題が多くてうるさすぎる もし建物を作るなら、学校や老人ホームなどだけ	
46	C	地下鉄の入り口をバリアフリーにする	協力してこのカードを書いている
47	C	地下鉄の入り口にエレベーター	
48	C	地下鉄駅にエレベーター	
49	C	地下鉄駅への通りの雪を冬に掃除する、夏は道の右は草刈りしているのに左側はしていないのはなぜか	
50	B	植物公園	デザインを考える
51	D	ここにある2つの建物の用途を変更する 住宅じゃなくてホテルなど	
52	E	駐車場を増やす	僕が大きくなったら協力する
53	B	水遊びできる児童公園	デザインを考えて建てる協力をする
54	B	JM全体 犬を散歩するためのフェンス付き公園 アメリカのフロリダとスロヴァキアのpiestanyの町にもあるのに	ボランティアをする
55	A	木を植える	誰かが水を運んでくれたら喜んで水やりをする
56	B	夏の舞台	デザインする
57	B	公園に大人のためのトレーニング器具、鉄棒	
58	F	草を切るときに全部切る なぜ半分は切っていないのか?(所有者が違うから?)11区全体で薬物を使う人を何とかする	
59	A	公園に花をもっと増やす	デザインする
60	B	児童公園の建て直し	
61	B	幼稚園の前に交通ルールを学ぶ公園を作る	デザインする
62	B	壊れている児童公園を片付けるかきれいに再生する	
63	C,F	道に木のバリア(目隠しのための)を作る 移動サーカスや遊園地などは来ないようにする	
64	C	スーパーに行くための横断歩道のベビーカー用のスロープを直す	
65	D	駅の建物を再建する	
66	E	再生して駐車場を増やす	
67	B	スポーツ公園、児童公園、ベンチなど	木を植える
68	A	Haje地下鉄駅の周りは全部公園にする	
69	C	小学校の横の入り口から池まで行ける道	
70	D	プロのボーリングができるボーリング場 最低12レーン	
71	F	子どものための乗馬場(リタイアした馬)	毎年馬のためにリンゴを一杯持つてくる
72	F	松の木をまた植えたい(昔あったのに無くなった)	
73	D	スタジアム	
74	F	スタジアムを作らないで	
75	B	この公園をリノベーションする	
76	B	噴水	
77	B	丸い児童公園にブランコ 最低二つ /賛成、私たちもそれが欲しい(※別人による加筆)	
78	B	ブランコ ブランコ 私たちもほしい	
79	E	駐車場を直す	

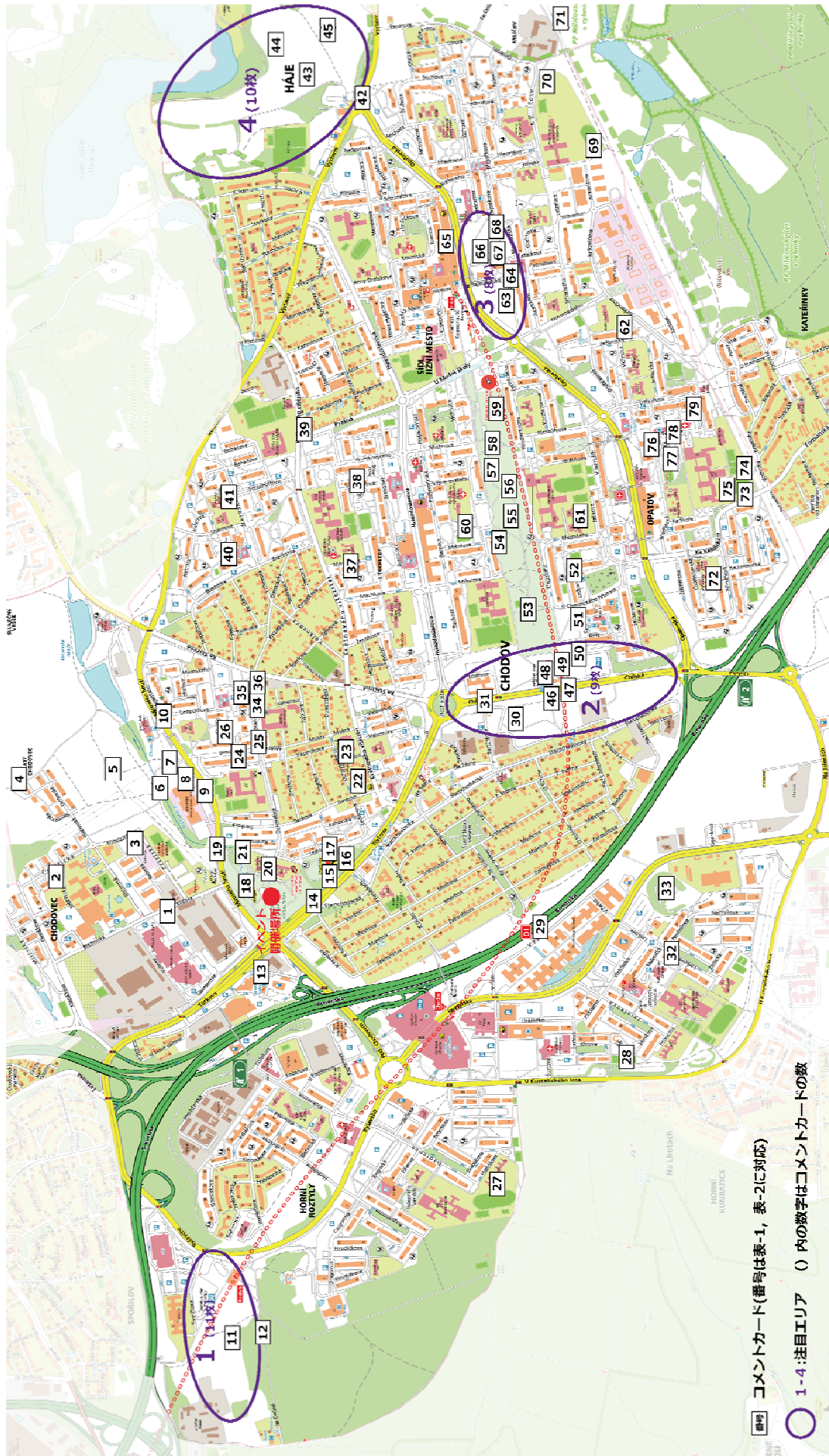


図-2 コメントカードの分布 (地図: <http://netmap2.planstudio.cz/praha1/> (2017年8月時点) (筆者加筆))